



梅雨に入り、あじさいの花が色づいています。皆様にはますますご清祥のこととお喜び申しあげます。平素より本校教育のためにご協力いただき、深く感謝いたしております。

さて、この度「はちのすだより」の臨時号（スペシャル）を発行することになりました。臨時号では、本年度の学校教育目標（重点目標…下記参照）に対する取り組み、児童の学校生活の様子や学校行事の様子などを紹介したいと思います。

どうぞよろしく願いいたします。

学校教育目標

「豊かな夢をもち、たくましく生きる子どもを育てる」

◇重点目標1◇

学習規律の定着を図る。

→

＜具体的方策＞

- ・相手に聞き取りやすい声で話す。
- ・話している人のほうを向いて最後まで聞く。

◇重点目標2◇

あいさつの習慣化を図る。→

- ・元気よく、相手の顔を見て、自分から気持ちのよいあいさつができるようにする。

◇重点目標3◇

児童の体力の向上を図る。→

- ・児童の実態に応じた体力向上プログラムを実施する。

「元気に あいさつ運動」

本校では、昨年度まで児童会の生活委員会を中心に「あいさつ週間」を1年に5回決めて、「あいさつ運動」を行ってきました。今年度からは、生活委員会の「あいさつ運動」だけでなく、3年生～6年生の各クラスが担当して「あいさつ運動」を行うことになりました。



最初の6月13日（水）は6年1組の担当で、2回目の6月20日（水）は6年2組の担当でした。8時から160階段や脱靴場の4箇所に分かれて、登校してくる子どもたちに自分から「おはようございます。」と声をかけます。最初は少しはずかしがっていましたが、慣れてく

るうちに声も大きくなり、元気にあいさつを交わすことができました。

「あいさつ」には、不思議な力があります。気持ちのよい「あいさつ」を交わすことができると、相手とのコミュニケーションがとれ、仲良くなることができます。上手な「あいさつ」の仕方には、いくつかポイントがありますが、「自分から」「相手の目を見て」「大きな声で」あいさつできるようになるといいですね。

